

豊見城市の環境

令和2年度版（令和元年度分報告）



とみぐすく
豊見城市 市民部 生活環境課

はじめに

豊見城市は沖縄本島南部に位置し、沖縄県の空の玄関口、那覇空港及び県都那覇市に隣接する人口6万人余を擁する都市です。本市にはラムサール条約に登録された「漫湖」や「饒波川」の周辺、「瀬長島」をはじめとする水辺空間、史跡や斜面緑地が残る「豊見城城址」周辺など、貴重な自然環境が残されており、うるおいのある都市景観を形成する重要な要素となっているため、憩いや安らぎを提供する資源として保全に努めるとともに、自然と共生する都市づくりを進めています。

その一方で、都市化の進展や生活様式の多様化により、地球温暖化や生物多様性の損失、資源枯渇といった地球的規模の問題から廃棄物処理、水・大気・土壌汚染などの身近な問題まで様々な問題に直面しています。

本市においても、那覇空港周辺における航空機騒音や生活排水等を起因とする水質汚濁、事業所からの悪臭等の公害苦情、また、ごみの不法投棄や墓地の散在化などが行政としての大きな課題となっています。

様々な環境問題に対応するため、本市では、航空機騒音の測定や水質調査、臭気測定等の公害調査をはじめ、ごみの減量化や不法投棄監視カメラ及び看板の設置、公営墓地の整備等に取り組んでいます。次世代に良好な環境を継承するためには、行政のみでなく、市民、事業者等すべての主体が環境の現状を把握し、日常生活や事業活動のあらゆる場面で、常に意識を持って環境へ配慮した取り組みを行うことが必要となります。

この「豊見城市の環境」は、令和元年度の豊見城市の環境の現状をまとめたものであり、本書が皆様の環境への関心と理解を深め、環境保全活動の取り組みに役立てていただければ幸いです。

令和3年3月

豊見城市長 山川 仁